

東京 陵 水

平成19年度総会
特 別 号

平成十九年度陵水会東京支部総会は、五月十六日（水）、午後六時から、港区台場一丁目、ホテル日航東京において開催される。今回の当番幹事には大学十九回卒業生が当る。

特別講演の講師には、北海道東海大学大学院国際地域学研究所教授・川崎一彦氏をお招きした。「長命から長寿へ」の演題により、会員の多くの関心事について、興味ある内容が講演される。同教授は滋賀大学経済学部十九回のご卒業である。

【開催概要】

○会 費

男性会員 七千円
女性会員 五千円

○次 第

①議 事 役員改選について
平成十八年度事業報告並びに収支決算報告および監査報告
平成十九年度事業計画並びに収支予算計画 その他事務局からの要望、説明事項
②来賓挨拶 滋賀大学経済学部 長 福田敏浩教授

③特別講演「長命から長寿へ」
北海道東海大学大学院国際地域学研究所 川崎一彦教授
④懇 親 会 参加者全員
祝辞と乾杯 堀川馨陵水会理事長



ホテル日航東京

平成十九年度総会幹事を 担当するに当たって

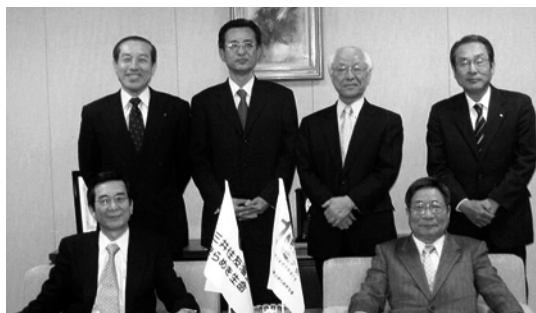
今年の陵水会東京支部総会の当番幹事は、大学十九回卒業生（昭和四十六年卒業）が、担当します。私は全体の窓口役とな

っている門平（元中央三井信託銀行）です。私は昨年の春から夏にかけて、毎日が日曜でした。そんなある日、十八回卒業生の先輩から、東京支部の総会に出てきてよと、声がかかりました。時間は掃いて捨てるほどありましたから、気軽に総会に出かけましたところ、出席した十九回卒業生は、たまたま私一人でした。総会の司会者に、次回の幹事から一言どうぞと紹介され、苦し紛れに「次回も今年同様しつかり幹事をやります！」と宣言してしまいました。

そこで、同期の皆さんに協力を求め数回打ち合わせ会を開催しました。第一回は、昨年十一月六日に開催し、竹森二郎（アイ・ロジステイクス）、寺井与利雄（三井住友海上きらめき生命保険）、稲野辺敬義（稲野辺公認会計士事務所）、井上博之（東洋建設、田原俊雄（西野商事）の諸兄が馳せ参じてくれました。第二回は、一月二十二日に開催し、新たに岡廣司君（ナガセエレクトクス）が加わってくれました。そんな経緯から、私としても一抹の責任を感じ、また少しでもご恩返しができるなラクシオンについてどうするか、やるなら何をやるかを相談

て会う人もおり、あるいは久しぶり（人によつては卒業以来）の顔合わせで、まず自己紹介やら近況報告やらを一通り済ませ、皆で力をあわせて十九回卒業の幹事を盛り上げようということになりました。

協議のポイントは三点、①会場、②講演会の講師、③アトラクションです。まず、①会場は、



前列右から稲野辺・門平
後列右から井上・竹森・岡・寺井の諸氏

数ヶ所に打診しました。それなりの場所です。それなりの催しをやるには、相応の予算が必要ですが、竹森君の骨折りで何とか予算内で、ホテル日航東京という豪華なホテルにセッットすることができました。次に、③のアトラクションについてどうするか、やるなら何をやるかを相談

し、候補を挙げました。その中から寺井君の紹介で、三井住友海上火災保険の社員オーケストラの団員から数人の室内楽団を組織していただき、ミニコンサートを開催することになりました。最も悩んだのは、②の講師でした。会合では、種々の候補は挙がるのですが、現実には諸条件（予算・日程・テーマ等）になかなかうまくマッチしません。そんな中で、我々の同期である川崎一彦君が、たいへん興味あるテーマを研究しているという話が出ました。彼は、北海道東海大学の教授で、社会福祉の先進国である北欧と日本の経営の比較を研究されているということでした。コンタクトをとると、幸いにも快諾してくれて、「長命から長寿へ」というテーマで、スウェーデンの経験をヒントに、日本の高齢社会をどう生きたらいいかについて講演していたことになりました。今回のテーマは、時宜を得て、今われわれOBが最も関心のあるテーマの一つではないかと思えます。われわれ同期も大変楽しみにしているところです。この間十一月十五日には、東京支部の役員幹事会が開催され、十九回卒業生が五人出席

(土井利昭(日本生命)、竹森、寺井、井上、門平)し、総会準備状況を報告しました。

特別講演講師

川崎 一彦

北海道東海大学教授

以上のようにわれわれ幹事は右往左往しながらも支部事務局や同期諸兄の協力と支援を得て、ここまで漕ぎ着けることができました。次の課題は、皆さんにたくさん出席していただくことです。それにはまず、当番幹事のわれわれが団結して事に当らなくては、ということから、三月八日に赤坂で幹事団の結団式を盛大に開催し、総会に向けて大いに盛り上げることにしております。この上は、さらに昨年素晴らしい幹事役を果たされた十八回卒業生の皆さん、そして来年幹事の重任のバトンを引き継ぐ二十回卒業生の皆さんには、多くの出席を期待しておりますし、お願いする次第です。もちろん、支部会員の多くの方々のご参加を心からお待ちしております。五月十六日の総会には、皆さん万難を排して出席され、よき学生生活の思い出を語り、あるいは来るべき高齢社会の生き方のヒントをもらい、必ずや意義ある一夜となることと思います。是非、皆さん五月十六日、会場でお会いいたしましょう。

(門平孝二郎 記)

一九四七年滋賀県生まれ。一九七二年滋賀大学経済学部経営学科卒業。日本貿易振興会(ジエトロ)ストックホルム事務所勤務。北海道東海大学助教授を経て九三年から北海道東海大学教授。



主な研究分野は北欧と日本の企業経営の比較。東海大学知的財産教育研究グループのメンバーとして、札幌地区で初等中等教育における起業家精神教育の実践研究中。

最近の主な著作に『スウェーデンハンドブック』(早稲田大学出版部)、『フィンランドから学ぶ教育と学力』(明石書店)、『Softland Plan for Hokkaido』(Japan Spot light July-August/2006)等がある。

北ヨーロッパ学会理事、(社)

スウェーデン社会研究所常任理事、(社)北方圏センター専門委員。ストックホルム大学派遣教授、はまなす財団北海道スタンダード検討委員会座長等の公職を勤められている。

【同教授からのご挨拶と講演内容要旨】

今回は陵水会東京支部の会にお招きを戴き、心よりお礼申し上げます。皆様とお会いできるのが楽しみです。私はスウェーデン人と結婚し、ストックホルムに長く住んでおりました。ジエトロ(日本貿易振興会「当時」)に勤め、日本に戻るつもりはありませんでした。二人の子どもはスウェーデンの大学を出てストックホルムで仕事をしています。しかし、ご縁があり、一九八八年から札幌の北海道東海大学で研究と教育に携わらせて頂いております。札幌に居を移してからも年に二―三ヶ月はストックホルムで生活しております。私自身も「団塊」の世代ですが、今後大量の退職が始まります。日本では年金が本当に支給されるのか、医療費の自己負担がどこまで上がるのか、消費税も上がりそう、と老後の年金生活への不安がつのつています。私の主張のポイントは以下

の二点です。

・福祉維持のためには、経済と福祉の両面での政策対応が必要

・自己の価値観と生きがいを持つ自立した意識が大切

中国では「長寿」と「長命」を使い分けします。長命とは物理的に長生きをしているだけですが、長寿とは死ぬまで生きがいを持って、はつらつと生きている人というそうです。日本はすでに世界一の長命国ですが、これからはスウェーデンを抜く世界一の「長寿国」を目指すべきではないでしょうか。今回はスウェーデンの経験をヒントに日本の高齢社会のこれからの方角をご一緒に考えさせて頂きたいと考えております。

アトラクション 「三井住友海上管弦楽団 アンサンブル」のご紹介

今次総会後の懇親会は昨年

続いて、親しみやすいクラシック音楽でお楽しみいただきます。演奏は三井住友海上管弦楽団の有志五人で編成されたクラリネット、ヴァイオリン、ピアノ等のアンサンブルです。

「三井住友海上管弦楽団」は一九九一年に結成され、三井住

友海上火災保険株式会社(結成当時は三井海上火災保険)の企業内オーケストラとして、社員を中心とするメンバーで約十五年にわたり演奏活動を継続しています。

昨年四月には節目に当る二十回記念の演奏会として、サントリホールで、ベートーベン作曲「交響曲第九番合唱付」を演奏しました。指揮には国内外で活躍の円光寺雅彦氏、ソリストに日本のオペラ・声楽界を代表する四名の方を招き、社内公募で結成した三井住友海上第九合唱団とともに、総勢四〇〇名で大成功を納めることが出来ました。また日常の活動として、数々の社内行事への出演、社会貢献活動の一環として、福祉施設でボランティア慰問演奏活動などを行っています。今後とも社員や関係者の皆さんに愛され、親しまれ、より質の高い音楽性を持った管弦楽団としての活動をめざしています。

今回、陵水会東京支部総会・懇親会で演奏するメンバー五名は、全国で勤務する一〇〇名の団員から、在京で活動中の有志の方々です。一同に会して練習できる機会が少ないのが悩みと

し、それぞれが演奏曲目をマスターし、今後、五月十六日（水）に向けて本社会議室（神田駿河台）で合同練習を重ねてくれると思います。（従って、演奏曲目は当日発表）。

当日はボランティアでの演奏であります。お楽しみいただくとともに、ぜひ、会員諸兄の温かいご声援をお願い申し上げます。（寺井与利雄 記）

江戸から未来へ 総会会場周辺のご案内

総会が開かれるホテル日航東京へは、お昼過ぎにお出かけして頂きたいと思っております。開会までの時間に、お台場の「江戸」から「未来」を廻ることが出来ます。

「お台場海浜公園」は、次の三つの公園の総称として呼ばれることもあります。台場公園（港区台場）、お台場海浜公園（港区台場）、潮風公園（品川区東八潮）。

●まずは「江戸」から。

「台場」は、ペリー来航ののち、外国艦船の砲撃から江戸を守るため、十一の台場の築造が予定され、六つが完成しました。今は、第三台場と第六台場が残されています。台場公園は昭和

三年、第三台場が当時の東京市によって史跡公園として整備されました。

第三台場の土塁から眺めて連想されるのは函館五稜郭です。それは砲台というよりは、小振りの城郭です。周囲に廻らされた土塁のいわば底に当たる場所に陣屋の跡が残されています。土塁のうち、対岸の浜松町に向



レインボーブリッジ遠望

かう部分には土塁が切り離されています。その先には荷揚げ場があり、その荷揚げ場から物資が運び込まれていたのです。

土塁の内側を利用した四ヶ所には、火薬置場も残されています。土塁の上には小さな二つの砲座が置かれています。この砲

座は江戸当時のものではない、との説明書きがかなり離れた場所に掲げられていました。

第三台場の先にある第六台場は植物や野鳥の宝庫ということ、立入りが禁止されているとのことです。

台場公園への通路沿いには、悲しい碑が建てられています。関東大震災、そして東京大空襲の際、この辺りには多くの被災者の遺体が折り重なるように流れ着いたとのこと。これを悼んで地元の方が毎年供養していました。お台場海浜公園が整備された際、最後の法要が営まれたと記されています。

●「平成」に。

お台場海浜公園と潮風公園は、お台場地区の整備が終了したのち、東京都港湾局によって整備された「平成の公園」ということができます。

お台場海浜公園には、ボード・ウォークも整備され、将来の桜並木の名所を造るための準備も始められています。お台場海浜公園には人工の砂浜が続いています。サーフィンをすることも出来ます。休憩や食事ができるマリーン・ハウスには、缶ワインが置いてありました。四

百円です。洒落ていますね。マリーン・ハウスを越えてすぐに、水上バスの発着所があります。そこから浅草まで直接に行くことも出来ます。

水上バスの発着所を越えると、ボードウォークは見晴らしのよいスカイ・ウォークに変わります。

スカイ・ウォークの尽きる辺りに「自由の女神像」（レプリカ）があります。



「自由の女神像」レプリカ

フランスからアメリカに贈られたニューヨークにある自由の女神像へのお返しとして、ニューヨーク在住の人々により、フランス革命百年を記念して贈られたのが、パリ・セーヌ川のシーニュ（白鳥）島に置かれて

いる自由の女神像です。このパリの女神像がお台場地区の完成と、日本におけるフランス年を祝って、一九九八年から九九年の間この地に置かれました。この像がパリに帰ってしまった、そこに女神像がなくなるのは淋しい、そういう人達の想いがいまあるレプリカを設置させることになったのです。

自由の女神像の辺りから、磯釣りのできる海岸へと変わります。そこはホテル日航東京とは「目と鼻」にあたります。

しばらく行くと、元々十三号埋立地に設置されていた十三号地公園を拡充、整備された南北地区からなる潮風公園に着きます。バーベキューをすることもでき（事前予約が必要、料金無料）、ます。ソーラー発電などの施設もある未来志向の公園です。

●そして「未来」へ。

船の科学館のはす向かいに位置しているのが、毛利衛宇宙飛行士が館長の「日本科学未来館」（江東区・独立行政法人・科学技術振興機構に所属）です。

未来館の愛称は、未来がいっぱい詰まった容れ物（CAN）。そして、未来に私達が体験できる（CAN）ようになる世界に触れる場を意味する「みらいC



沿岸の偉容

AN”。

船の科学館は入場料が大人千円（本館、宗谷、羊蹄丸共通券）、月曜休館。科学未来館は入場料が大人五百円、火曜日休館です。一度是非お出かけください。

私、奥村は陵水会東京支部総会の日には、この前時間がなくなつて通り過した潮風公園南地区にあるコーストデッキを楽しむ予定をしています。

潮風公園のホームページによればコーストデッキには「島の日曜日の午後」と題する彫刻がおかれているそうです。その彫刻は正面からと横からとで見るとまったく別の形に見える不思議な彫刻とのことです。どのような彫刻なのか楽しみです。

●アクセス

浜松町から虹1の都バスにお乗り下さい。出来ましたらバスターミナルからお乗りください。確実に坐る事が出来ます。進行方向左側の座席をオススメします。

他に新橋からのゆりかもめ、大崎、新木場からの臨海線、さらには日の出駅からの水上バスもありますが、都バスは二百円と最もお手軽です。

脚に自信のある方はレインボーブリッジを歩かれることをオススメします。所要時間は三十分ほどのこと。

お台場側の降り口は、台場公園に隣接しています。バスやゆりかもめを利用した場合、お台場公園入口から歩くことを考えると、レインボーブリッジを渡ることが極めて合理的ともいえます。

なお、風が強い場合、および午後五時以降は閉鎖されていますので念のため。

（奥村勇雄 記）



ホテル日航東京

〒135-8625 東京都港区台場1-9-1 ホテル日航東京
Tel. 03-5500-5500 (代) Fax. 03-5500-2525

お車で

■首都高速道路をご利用の場合

【都心方面から】首都高速11号台場線（レインボーブリッジの上層）→台場ランプから約3分

【大井方面から】首都高速湾岸線→13号地ランプから約1分

【葛西方面から】首都高速湾岸線→有明ランプから約4分

電車で

「ゆりかもめ」新橋駅から15分、豊洲駅から16分の台場駅すぐ。

「りんかい線」東京テレポート駅からは徒歩10分。

地上出口よりホテルまでの無料シャトルバスを運行しています。